

# 三条市水道事業ビジョンの達成状況 (令和3年度)

# 基本方針1 安全で安定した水道水の供給

## 1 水源の確保・保全・水質管理の徹底

啓発活動等実施回数及び水質異常発生回数の実績は右表のとおりであり、いずれも計画を達成しました。

安全で安定した水道水の供給のために、水源の確保と保全、水質管理の徹底は重要です。今後も水源保全の啓発を行うとともに、水道施設のパトロールや水質管理等の徹底に努めます。

区 分	令和3年度		
	計 画	実 績	計画値との差
啓発活動等実施回数(回)	2	2	0
水質異常発生回数(回)	0	0	0

## 2 水道施設の安全管理

水道施設の日常点検を確実にを行い、施設の異常把握に努めました。

# 基本方針2 災害に対する強靱化の推進

## 1 水道施設の耐震化

老朽管の更新に併せて管路の耐震化を進めました。実績は右表のとおりであり、平成29年度以降、予定していた国等の関連工事が減工となったため、計画未達が続いておりますが、限りある財源の中で計画的に耐震化を進めてまいります。

区 分	令和3年度		
	計 画	実 績	計画値との差
管路の耐震化率 (%)	11.4	10.6	△0.8

## 2 災害時対応の充実・強化

応急給水体制の確保については、前年度に引き続き日本水道協会新潟県支部との応援体制が確立されている中で、水道お客さまセンターとの連携を含め、市の水害対応防災訓練に併せて訓練を実施いたしました。

また、災害復旧体制の確保については、日本水道協会新潟県支部の三条エリア団体（三条市、燕・弥彦総合事務組合、加茂市、田上町、三条地域水道用水供給企業団）と資機材の保有情報を共有するなど関係機関との連携を図りました。

# 基本方針 3 健全な事業運営の持続

## 1 計画的な施設の更新

管路更新延長は右表のとおりであり、計画達成となりました。

浄配水施設の長寿命化については、将来的に企業団からの受水量の増加を見据え、それまでの間、適切な維持管理に努めてまいります。

区 分	令和3年度		
	計 画	実 績	計画値との差
管路更新延長 (km)	4.3	4.3	0

## 2 収益の確保

水道事業の収入の根幹を成す水道料金の収納率は、計画値を上回りました。引き続き、収納率の向上に努め、未納者に対しては、納入相談等により納付意識の向上に努めてまいります。

区 分	令和3年度		
	計 画	実 績	計画値との差
収納率 (%)	98.81	98.83	0.02

## 3 経営の効率化

経営の効率化の指標については、有収率が計画値を下回りましたが、その他の項目は、目標を達成しました。有収率の減少の主な要因は、給・配水管等の老朽化による漏水などの無効水量や消防用水などの無収水量が対前年比で増加したことと考えております。

今後もコスト削減等による経営の効率化を進めるとともに、漏水箇所の早期発見・早期修繕を実施し、有収率の向上を図ってまいります。

区 分	令和3年度		
	計 画	実 績	計画値との差
職員数 (人)	29	27	△2
営業収支比率 (%)	96.00	100.80	4.80
経常収支比率 (%)	97.94	105.39	7.45
有収率 (%)	90.67	90.05	△0.62

# 基本方針 3 健全な事業運営の持続

## 4 事業運営体制の強化

外部研修については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止・延期となり、参加実績はありませんでした。

区 分	令和3年度		
	計 画	実 績	計画値との差
外部研修参加人数（人）	6	0	△6

## 投資計画と財政収支計画の達成状況 ①投資計画

### 投資計画

関係機関との協議に不測の日数を要したことで、配水管布設替工事費を翌年度に繰り越したため、計画を達成できませんでした。

(千円)

区 分	令和3年度			
	計 画	実 績	計画値との差	
更新費用	浄水施設費	10,000	0	△10,000
	配水管布設替工事費	500,000	449,610	△60,390
		510,000	449,610	△60,390
その他建設費用	配水施設設置工事費	5,000	462	△4,538
	配水管布設工事費	30,000	22,101	△7,899
	消火栓施設費	10,000	5,338	△4,662
	固定資産購入費	4,000	2,274	△1,726
		49,000	30,175	△18,825
計	559,000	479,785	△79,215	

### 給水人口と年間有収水量の見込み

給水人口、年間有収水量とも計画値を若干上回りました。今後も給水人口の減少に伴い、有収水量の減少傾向が続くことが見込まれますので、十分注視してまいります。

区 分	令和3年度		
	計 画	実 績	計画値との差
給水人口(人)	93,767	94,088	321
年間有収水量(千m <sup>3</sup> )	11,413	11,926	513

### 収益的収支

収入については、給水人口及び年間有収水量が計画値を上回ったことで、料金収入をはじめ、全体として計画値を上回りました。

支出については、三条地域水道用水供給企業団の受水費単価の見直し(平成30年度)による受水費の減額や支払利息の減額等により、全体として計画値を下回りました。

結果として、損益は100,225千円の黒字となり、計画値を上回りました。

(千円)

区 分	令和3年度			
	計 画	実 績	計画値との差	
収 入	1 営業収益	1,766,829	1,841,180	74,351
	(1) 料金収入	1,739,832	1,815,125	75,293
	(2) その他	26,997	26,055	△942
	2 営業外収益	103,647	122,673	19,026
	(1) 他会計繰入金	1,624	2,040	416
	(2) 長期前受金戻入	61,699	78,107	16,408
	(3) 水道加入金・その他	40,324	42,526	2,202
	3 特別利益	0	0	0
	計 (A)	1,870,476	1,963,853	93,377
	支 出	1 営業費用	1,840,267	1,826,463
(1) 人件費		144,220	141,194	△3,026
(2) 物件費		1,117,319	1,088,993	△28,326
(うち受水費)		825,251	781,183	△44,068
(3) 減価償却費ほか		578,728	596,276	17,548
2 営業外費用		69,546	36,934	△32,612
(1) 支払利息		68,616	35,896	△32,720
(2) その他		930	1,038	108
3 特別損失		500	231	△269
計 (B)		1,910,313	1,863,628	△46,685
損益(A) - (B)	△39,837	100,225	140,062	
利益剰余金残高	1,043,493	1,502,840	459,347	

## 資本的収支

建設改良費を翌年度に繰り越したことにより、関連する企業債、工事負担金が減額となり、全体の差引不足額は計画値を下回りました。

なお、内部留保資金残高は計画値を上回り、増加傾向にあります。

(千円)

区 分		令和3年度		
		計 画	実 績	計画値との差
収	1 企業債等	420,000	302,600	△117,400
	2 出資金・補助金	0	0	0
	3 工事負担金・その他	80,467	52,188	△28,279
入	計 (A)	500,467	354,788	△145,679
支	1 建設改良費	641,629	546,730	△94,899
	2 企業債償還金	174,066	174,066	0
	3 災害復旧債償還金	2,552	2,552	0
出	計 (B)	818,247	723,348	△94,899
差引不足額 (A) - (B)		△317,780	△368,560	△50,780
内部留保資金残高		2,096,225	2,523,956	427,731

## 令和3年度における水道事業ビジョンの総括

主要事業計画に掲げた事業及び数値目標については、概ね計画どおりに実施し、計画的な施設の更新における管路更新延長も計画を達成しましたが、水道施設の耐震化は計画値を下回ることから、引き続き、他事業との調整を密にするとともに計画的な管路更新に努めてまいります。

経営状況については、給水人口が年々減少していますが、給水人口及び年間有収水量とも計画値を上回りました。

また、収益的収支の損益（純利益）では、計画値を上回ったことから、概ね良好な事業運営ができました。

引き続き、「水道事業ビジョン」で設定した基本理念及び基本方針に基づき、定員適正化等による徹底したコストの削減、漏水の早期修繕等による有収率の向上、老朽配水管等の計画的な更新、施設の長寿命化等に取り組み、安全で安心な水道水の供給に努めてまいります。